

（仮称）荻窪駅周辺
回遊性向上アクションプラン

（案）

令和 2（2020）年 1 月

杉並区

目 次

1. 計画の背景と目的	1
2. 位置付け	2
3. 対象区域	3
4. 基本理念	4
5. 叶えたい具体的なまちのイメージとアクションプラン	5
6. 各アクションプランの実施ステップ	15
7. 今後に向けて	17

参考資料

(1) 地域資源	18
①すぎなみ景観ある区マップ	
・荻窪北・下井草編	
・荻窪南編	
②駅からお散歩マップ	
・おぎくぼ北エリア	
・おぎくぼ南エリア	
(2) 策定経緯	22
(3) 参考文献	23

1 計画の背景と目的

杉並区では、地元発意のまちの将来像である「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」の提案（平成27年）を受け、「荻窪駅周辺のグランドデザイン」として、平成29年に「荻窪駅周辺まちづくり方針」（以下、「まちづくり方針」という。）を策定しました。

荻窪には数多くの地域資源が集積しており、「まちづくり方針」では、「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」を目標の一つとしています。国史跡「荻外荘」（平成28年3月指定）を活用した史跡公園「(仮称) 荻外荘公園」の公開（令和6年予定）は、現在でも増加傾向の見られる来街者をさらに惹きつけることでしょう。

しかしながら、地域住民の方から、訪れる方が増えることに対して不安の声が聞かれたり、訪れる方からは「住宅地に点在した地域資源の場所がわかりづらい」とのご意見が寄せられている現状もあります。

このまちの現状への対応を、(仮称) 荻外荘公園の公開を控えた今、荻窪のまちにお住まいの方、行政、事業者が一緒になって考え、取り組みたい、という思いから、本アクションプランの検討が始まりました。

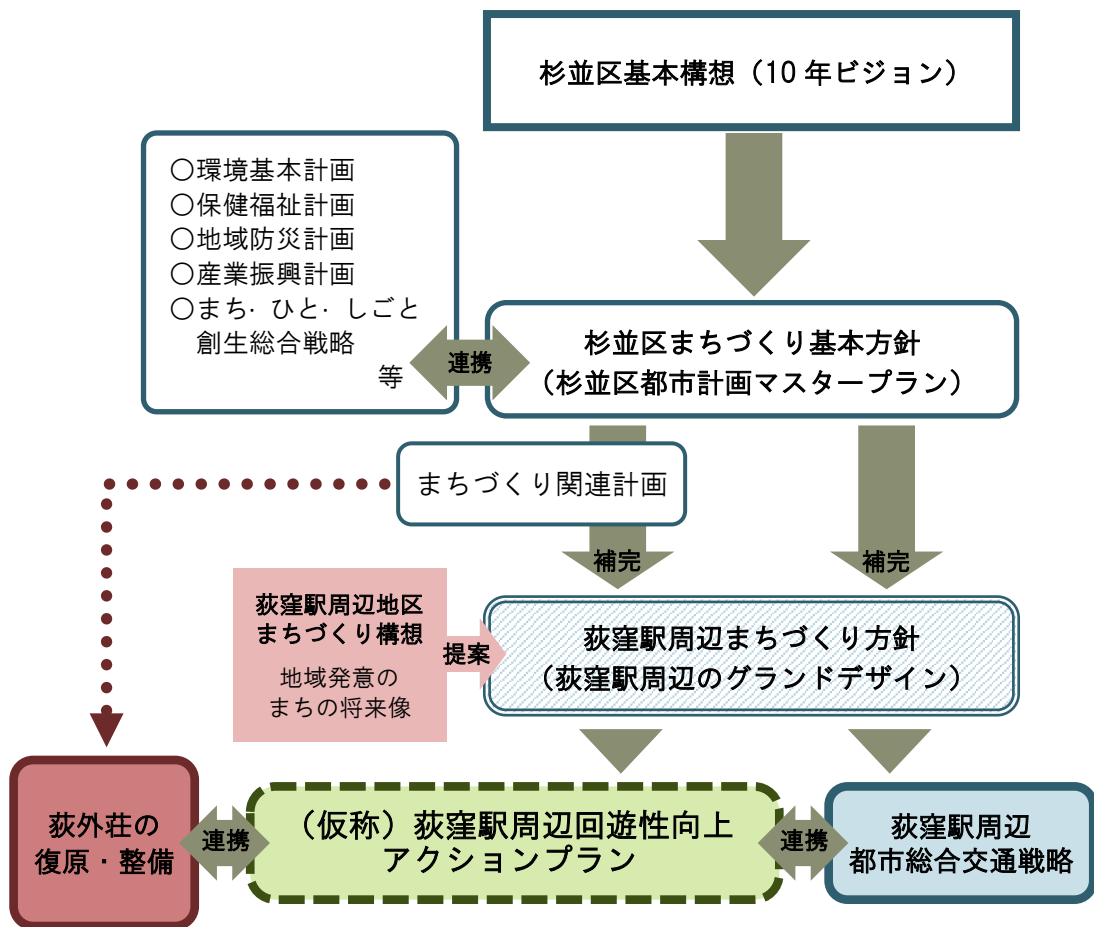
本アクションプランは、農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ち等、荻窪のまちの魅力を様々な方に知ってもらうことでその価値を更に向上させ、荻窪にお住まいの方からはますます愛される存在とすること、まちを訪れる方からは「また訪れてみたい」と思っただけのようにすること、すなわち、「まちづくり方針」で掲げた「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、このまちを舞台としてさまざまな形で活動する人が楽しく取り組める具体的なメニューを共有することを目的として策定します。

2

位置付け

本アクションプランは「杉並区基本構想（10 年ビジョン）（平成 24 年）」、「杉並区まちづくり基本方針（平成 25 年）」を上位計画とし、「まちづくり方針」の回遊性の向上に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

また、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを目指す「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略（平成 31 年）」や、荻外荘の復原・整備に関連する施策との連携を図っていきます。



3

対象区域

本アクションプランでは、「まちづくり方針対象区域」のうち、JR線路の南側エリアを主たる対象としますが、アクションプランの内容によっては、「まちづくり方針対象区域」全体に広げて取り組みます。



凡例

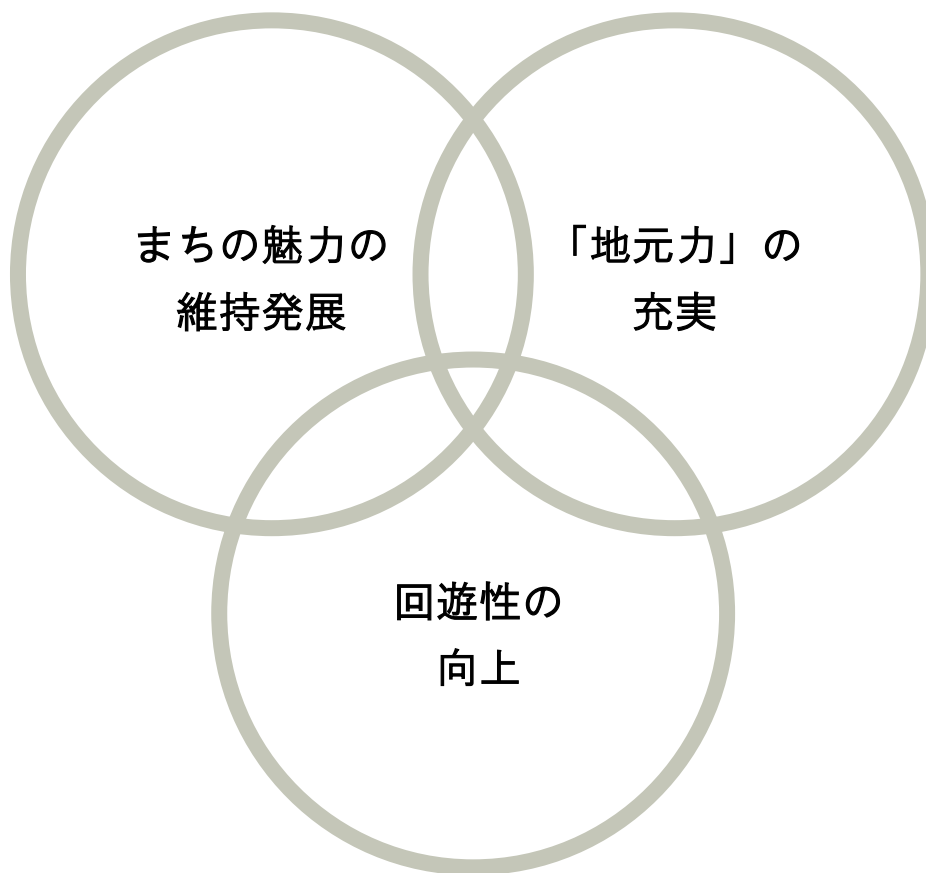
本アクションプランの
主たる対象区域まちづくり方針
対象区域

町丁目境界

4

基本理念

このアクションプランでは、まちの魅力を将来に渡って味わい楽しんでもいただくために、まちの魅力を維持し更に向上させることに加え、地域全体で来街者を気持ちよくお迎えする「地元力」とも呼べるような力を充実させること、そして、地域住民の皆さまはもちろん、来街者の方にも楽しくまち歩きをしていただけることを目指し、「まちの魅力の維持発展」「地元力の充実」「回遊性の向上」の3つを基本理念に掲げます。



5

叶えたい具体的なまちのイメージとアクションプラン

○叶えたい具体的なまちのイメージ

「まちづくり方針」で掲げている将来像及び目標Ⅳ「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現に向けて、前ページの基本理念を踏まえ、本アクションプランの実践によって叶えたい、4つの具体的なまちのイメージを定めます。

叶えたい具体的なまちのイメージ	
その1	まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる良好な住環境を守り育てるまち
その2	地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、来街者を気持ちよくお迎えするまち
その3	貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち
その4	歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

基本理念

「まちの魅力の
維持発展」

「地元力の充実」

「回遊性の向上」

まちの将来像・目標 (荻窪駅周辺まちづくり方針)

将来像

「住宅都市杉並の芯として歴史文化を礎に にぎわいと住環境が調和したまち」

目標Ⅳ

「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」

○叶えたい具体的なまちのイメージ実現に向けたアクションプランの見方

○まちの現状

「叶えたい具体的なまちのイメージ」に関連するまちの現状や、住民の意見等を整理しています。

○アクションプランイメージ

実施予定のアクションプランに関連する参考事例を整理しています。

叶えたい具体的なまちのイメージ【その1】

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる
良好な住環境を守り育てるまち

まちの現状

- ・農村から別荘地、郊外住宅へと変化したまちの成り立ちは、萩窪らしさの一つです。
- ・都心に近いにもかかわらず自然豊かなことなどから当時移り住んだ政治家・文化人等の邸宅や、文化住宅と呼ばれたモダンな建物が残っています。
- ・当時の面影を残す古木を含む屋敷林が、まちの歴史を伝えるものも見られますが、みどりの量は基本的には減少傾向となっています。
- ・いくつかの地元団体が、地域で様々な活動を積極的に実施しています。個々の団体同士がつながると更に面白い、という意見もあります。

現状を踏まえたアクションプラン

毎日「萩窪の記憶」※ プラン

● まちなかの何気ない場所で、まちの歴史について気軽に触れられる機会をつくり、新たな発見を楽しめるようにします。

※「萩窪の記憶」は、萩窪地域区民センター協議会が開催した、萩窪のまちの成り立ちに関する市民講座及びイベントの名称です。

それは知らなかった！ プラン

● 主に地域住民の方々に対象に、実際に活動されている地元ガイドの方々が、「それは知らなかった！」という新鮮な驚きを引き出すようなまち案内をします。

＜既に実施されている取組です。＞

現状を踏まえたアクションプラン

● 潤いのある景観を届けてくれているまちのみどりの維持管理の一部を体験できる機会をつくり、みどり豊かな萩窪のすばらしさを共有します。

こんな活動してます プラン

● 地域で活動されているいくつかの団体間で、お互いの活動内容を共有できる機会をつくり、より楽しい活動や、新たな“化学反応”につなげます。

実施主体凡例：● 地域住民・団体 / ■ 行政 / ▲ 事業者（企業、周辺の学校等）
※通り等は実施主体者

アクションプランイメージ

＜参考事例1＞ Portobello Road Arts Project（ロンドン）＞

・毎年1人の地元アーティストにスポットを当て、ロンドン郊外の2つの個性豊かなマーケットを結ぶ道路に沿った全長100mのウォールに作品の展示を行うパブリックアートプロジェクトで、10年前から行われています。地域間の連続性の創出等に寄与しています。

＊出典：TfL

アクションプランイメージ

＜参考事例2＞ 落ち葉感謝祭の実施（杉並区/みどり公園緑）＞

・日々の生活の中で恩恵を与えてくれる樹木や樹木の所有者に対し、落ち葉を掃くことやみどりのライフサイクルを学ぶことで、自然の恩恵や樹木所有者の日頃の活動に対する感謝を表現するイベントです。落ち葉プールや工作等の催し等も実施しており、みどりに親しむ機会の提供を行っています。

＊出典：杉並区緑

コラム（区内の地域活動）

1、「萩窪の記憶」プロジェクトによるまちの歴史の伝承

明治・大正・昭和にかけて、別荘地から文化人を含む多彩な人々が暮らす郊外住宅へと発展した萩窪の歴史を掘りおこし、パネル展示や講座を通して伝える活動を行っています。

実施主体：萩窪地域区民センター協議会
出典：萩窪地域区民センター協議会HP

2、萩窪の歴史・文化・地形に関するまち歩きガイド

コラム（区内の地域活動）

「萩窪を知る」ガイドなど、様々なまち歩き講座を実施しています。《株・明るい生活社 萩窪百点》

・「萩窪満喫8の字コース」等複数のコースを設定し、地元ガイドによるまち案内を行っています。「萩窪三庭園めぐりコース」では、三庭園を結ぶエリアを「萩窪南文化トライアングル」として、その魅力を紹介しています。《（一社）すぎなみ文化協会まちづくり部会杉並ガイド》

・「萩外荘通り」の愛称が付けられた通りを軸として、大田黒公園、角川庭園、萩外荘などの歴史的・文化的資源を中心に訪ね歩く野外講座を開催し、気軽に楽しくまちを知る機会を提供しています。《萩窪地域区民センター協議会》

出典：各団体のHP

○現状を踏まえたアクションプラン

まちの現状を踏まえ、必要と考えられる取組をアクションプランとして掲げています。

各アクションプランに合わせ、実施主体についても整理しています。

○コラム（区内の地域活動）

地域の地元団体の方々の活動のうち、「叶えたい具体的なまちのイメージ」や実施予定のアクションプランに関連する活動内容の一部をコラムとして紹介しています。

叶えたい具体的なまちのイメージ【その1】

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる
良好な住環境を守り育てるまち

■まちの現状

- ・農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ちは、荻窪らしさの一つです。
- ・都心に近いにもかかわらず自然豊かなことなどから当時移り住んだ政治家・文化人等の邸宅や、文化住宅と呼ばれたモダンな建物が現在も多く残っています。
- ・当時の面影を残す古木を含む屋敷林等は、大切に維持されているものも見られますが、みどりの量は基本的には減少傾向となっています。
- ・いくつかの地元団体が、地域で様々な活動を積極的に実施しています。個々の団体同士がつながると更に面白い、という意見もあります。

■現状を踏まえたアクションプラン

毎日「荻窪の記憶」※ プラン

実施主体

- まちなかの何気ない場所で、まちの歴史について気軽に触れられる機会をつくり、新たな発見を楽しめるようにします。

※「荻窪の記憶」は、荻窪地域区民センター協議会が開催した、荻窪のまちの成り立ちに関する市民講座及びイベントの名称です。



それは知らなかった！ プラン

実施主体

- 主に地域住民の方々を対象に、実際に活動されている地元ガイドの方々が、「それは知らなかった！」という新鮮な驚きを引き出すようなまち案内をします。

<既に実施されている取組です。>



ありがとう荻窪のみどり プラン

実施主体

- 潤いのある景観を届けてくれているまちのみどりの維持管理の一部を体験できる機会をつくり、みどり豊かな荻窪のすばらしさを共有します。



こんな活動してます プラン

実施主体

- 地域で活動されているいくつかの団体間で、お互いの活動内容を共有できる機会をつくり、より楽しい活動や、新たな“化学反応”につなげます。



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）

※塗りは主な実施主体者

■アクションプランイメージ

＜参考事例 1：Portobello Road Arts Project（ロンドン）＞

- ・毎年1人の地元アーティストにスポットを当て、ロンドン郊外の2つの個性的なマーケットを結ぶ道路に沿った全長100mのレンガの壁に作品の展示を行うパブリックアートプロジェクトで、10年前から行われています。地域間の連続性の創出等に寄与しています。

* 出典：THE ROYAL BOROUGH OF KENSINGTON AND CHELSEA HP



＜参考事例 2：落ち葉感謝祭の実施（杉並区/みどり公園課）＞

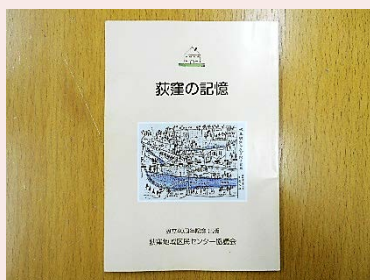
- ・日々の生活の中で恩恵を与えてくれる樹木や樹木の所有者に対し、落ち葉を掃くことやみどりのライフサイクルを学ぶことで、自然の恩恵や樹木所有者の日頃の活動に対する感謝を表現するイベントです。落ち葉プールや工作等の催し等も実施しており、みどりに親しむ機会の提供を行っています。

* 出典：杉並区 HP



コラム（区内の地域活動）

1、「荻窪の記憶」プロジェクトによるまちの歴史の伝承



明治・大正・昭和にかけて、別荘地から文化人を含む多彩な人々が暮らす郊外住宅へと発展した荻窪の歴史を掘りおこし、パネル展示や講座を通して伝える活動を行っています。

実施主体：荻窪地域区民センター協議会

出典：荻窪地域区民センター協議会 HP

2、荻窪の歴史・文化・地形に関するまち歩きガイド



- ・荻窪の歴史に関する知識を地域の方に広めることにより、まちに対する愛着をより深めてもらうことを主旨として、「荻窪百点文化講座『荻窪を知る』ガイド」など、様々なまち歩き講座を実施しています。（(株)明るい生活社 荻窪百点）
- ・「荻窪満喫8の字コース」等複数のコースを設定し、地元ガイドによるまち案内を行っています。「荻窪三庭園めぐりコース」では、三庭園を結ぶエリアを“荻窪南文化トライアングル”として、その魅力を紹介しています。（(一社)すぎなみ文化協会まちづくり部会杉並ガイドの会）
- ・地域で「荻外荘通り」の愛称が付けられた通りを軸として、大田黒公園、角川庭園、荻外荘などの歴史的・文化的資源を中心に訪ね歩く野外講座を開催し、気軽に楽しくまちを知る機会を提供しています。（荻窪地域区民センター協議会）

出典：各団体の HP

叶えたい具体的なまちのイメージ【その2】

地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、
来街者を気持ちよくお迎えするまち

■まちの現状

- ・(仮称) 荻外荘公園の令和6年(予定)の公開を控え、地域でのムード盛り上げも、来街者のお迎え準備も、まちがひとつとなり統一感を持って進めるために、荻窪にふさわしいデザインが必要だとの意見があります。
- ・一方、今後、来街者の増加が見込まれることに対して、地域住民の方から不安の声も聞かれます。
- ・みどり豊かな荻窪ですが、まち歩きの主軸となる「荻外荘通り」の愛称がつけられた区道沿道に、もう少しみどりのつながりが見られると良い、という声があります。

■現状を踏まえたアクションプラン

荻窪的デザインでいこう プラン

実施主体

- 本アクションプランに位置づく様々なプランを、荻窪にふさわしい素敵なデザインのもと進めるため、専門家の意見も聞きながら、デザインコンセプトを確立します。



ご近所優待 プラン

実施主体

- 今後更なる来街者の増加が見込まれる(仮称) 荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園(以下、3つの庭園を「三庭園」という。)のご近所の皆さまに対して、日頃のお礼と末永いお付き合いのお願いの気持ちを込めて、特別見学やイベントの先行ご招待などを行います。

<既に実施されている取組です。>



まちをみどりで演出 プラン

実施主体

- まち歩きの主軸となる「荻外荘通り」の愛称がつけられた区道などをはじめとして、まちの沿道のみどりを有志の方々により少しずつ増やしていきます。



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者(企業、周辺の学校等)
※塗りは主な実施主体者

■アクションプランイメージ

＜参考事例 1：町の統一ロゴマークの作成（東神楽町/まちづくり推進課）＞

- ・まちの知名度の向上や農産物、加工品などに更なる付加価値を与えることを目的に、複数の地元団体代表者と複数の協議会やワークショップを開催し、ロゴマークが作成されました。ロゴマークを使用した製品に関する経費の一部を助成する等により、東神楽ブランドの構築と推進を図っています。

* 出典：東神楽町 HP



＜参考事例 2：みどりのベルトづくり事業の実施（杉並区/みどり公園課）＞

- ・杉並区では、まちづくりの一環として「みどりのベルトづくり」に取り組んでおり、「公共のみどり」と「家の前のみどり」をベルトのようにつなげる活動に協力してくださる方に植物・資材の提供等を行うことで、美しいまちなみの形成や活動をきっかけとしたコミュニティの形成を推進しています。

* 出典：杉並区 HP



＜参考事例 3：まちの魅力アップ推進事業の実施（八王子市/市街地活性課）＞

- ・中心市街地の民地でまちの新たな魅力となるものを整備する民間の取組に対し「八王子市魅力づくり支援補助金」として経費の一部の補助を行っています。
- ・通行人の休憩スペースの設置や良好なまちなみを演出するみどりの設置や管理、中心市街地の集客やイメージアップに関わるもの等、公共性や公益性の高いものを対象とし、まちの活性化を推進しています。

* 出典：八王子市 HP



叶えたい具体的なまちのイメージ【その3】

貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち

■まちの現状

- ・三庭園、西郊ロッチングなど、国指定・登録の有形文化財等の資源が多く残されていますが、駅から離れた住宅地に点在しているため、「場所がわかりづらい」との声があります。
- ・まちの成り立ちや歴史は、スタディ・ツーリズムの展開に関する可能性が感じられます。その学びの拠点の一つとなり得る杉並区立中央図書館は、73 万点もの資料を有し、都内でも有数の所蔵点数を誇ります。
- ・三庭園を始めとする各施設では、恒例イベントも多く実施されており、今後は、各施設間のコラボレーション企画の可能性も感じられます。

■現状を踏まえたアクションプラン

荻窪道しるべ プラン

実施主体

- 路面等も活用し、まち歩きで迷いたくない方をサポートする案内サインを設置します。
- ICT を活用するなどして、まちの歴史に関するエピソードを楽しめるような工夫も行います。



歴史的・文化的資源のはしごはかが プラン

実施主体

- 三庭園を始めとする各施設間の情報共有により、より質の高いサービスを提供します。また、各施設合同イベント等の開催により、1 度で何度も楽しいまちの学び方も提案します。

<一部既に実施されている取組です。>



これでわたしも荻窪通 プラン

実施主体

- 主に来街者の方を対象に、実際に活動されている地元のボランティアガイドの方々が、荻窪の歴史・文化についてきめ細かい案内をします。

<既に実施されている取組です。>



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）
※塗りは主な実施主体者

■アクションプランイメージ

<参考事例1：五足の靴文学遊歩道の整備（天草市/熊本県観光物産課）>

- ・日本の近代文学者の基礎となった作品を次々に送り出した与謝野寛（鉄幹）、北原白秋、平野万里、吉井勇、木下幸太郎の5人の詩人が作成した紀行文の舞台となった道の一部を遊歩道として整備したものです。
- ・5人の詩人の旅のエピソードや「五足の靴顕彰全国短歌大会」の入選作品などを記した揭示板の設置、展望台や休憩所の設置等を実施し、歴史に思いを馳せることができます。

*出典：（一社）天草宝島観光協会 HP



<参考事例2：スタディ・ツーリズムの実施（川崎市/（一社）川崎市観光協会）>

- ・川崎市には京浜工業地帯の中心として産業経済を支えてきた多種多様な工場・事業所等が数多く存在しています。
- ・稼動している工場や産業文化財等、普段は入ることができないものづくりの現場を訪ね、実際に触れることで（インダストリアル・スタディ・ツーリズム＝産業訪問）、その大切さと携わる人々の心を学ぶという新たな観光を提供しています。

*出典：（一社）川崎市観光協会 HP



コラム（区内の地域活動）

1、愛称の決定と愛称プレートの設置



（仮称）荻外荘公園をはじめ、多くの国指定・登録有形文化財等が面する通りに愛称をつけるキャンペーンを実施し、地域で決定した愛称の普及のため、愛称プレートの作成・設置を行っています。

実施主体：荻窪地域区民センター協議会
出典：荻窪地域区民センター協議会

叶えたい具体的なまちのイメージ【その4】

歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの
仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

■まちの現状

- ・余裕を感じるまちなみ、趣のある建物、宅地内のみどりなど、歴史的・文化的資源以外にも、まちの成り立ちや歴史を感じさせる要素が多くあり、まち歩きで楽しめる“もう一つの資源”となっています。
- ・駅を起点として放射状に展開する商店街は、まち歩きの“ベースキャンプ”として十分なポテンシャルを持っており、商店街も合わせて楽しむのが“荻窪的まち歩き”である、と勧める地元の声があります。
- ・“荻窪的まち歩き”を楽しむ場合、ある程度長い距離を歩くことになりますが、住宅地へ入ってしまうと、ちょっと一休みとして腰掛けられる場所がほとんどありません。

■現状を踏まえたアクションプラン

O H O（オープンハウスオギクボ、Open House Ogikubo）プラン

- Open House London などをお手本に、地域の方々の協力を得ながら、まちの趣ある建物やお庭を見学できるようなイベントの実施に向け、各種調整を行います。

実施主体



とっておきのイラストマップ プラン

- デザインコンセプトに基づき、まち歩きで使った後も、そっと自宅の引き出しにしまっておきたくなるような、素敵なイラストマップを作ります。

実施主体



イマドキノツタエカタ プラン

- 商店街も含めた地域資源の情報や、「住宅地が舞台となるまち歩きのあり方」を意識していただけるようなメッセージなどを、目的にあった媒体で発信します。

実施主体



どうぞご自由にお掛けください プラン

- 一般のお宅の車庫脇や商店街の店先など、ちょっとしたスペースに腰掛けられるものを置いてもらい、まち歩きはもちろん、地域の方の買い物途中の休憩にも役立てられるお休みどころを広げます。

実施主体



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）
※塗りは主な実施主体者

■アクションプランイメージ

<参考事例 1: Open House London (ロンドン)>

- ・毎年9月の週末2日間のみ、普段は公開されていないロンドンの優れたデザインを持つ建築を無料で一般公開するイベントです。対象となる建築は、個人邸を含む800以上に上ります。一般市民や建築を学ぶ学生たちに優れたデザインを知る機会を提供し、市民参加によるまちづくりをより活力あるものにする事で、ロンドンの価値を更に高めることを目的として実施しています。

* 出典: Open House London HP



<参考事例 2: 下田 30COLORS PROJECT (下田市/ (一社) 下田市観光協会)>

- ・歴史、景観、グルメ等に関するまちのおすすめスポットを30種類以上の様々なジャンルに分類し、ジャンルごとのカラフルな冊子を作成しています。なかには白地図の冊子もあり、自分好みのマイマップが作成できるなど、工夫を凝らしたまち歩きの推進をしています。

* 出典: (一社) 下田市観光協会 HP



<参考事例 3: まちなかの小休憩所の設置 (杉並区/店舗)>

- ・店先にさりげなく椅子が置かれ、誰でもひと休みできる場を提供しています。地域の方による心遣いは、住民の日常生活への助けだけでなく、来街者を迎え入れる雰囲気の演出にも寄与すると考えられます。



コラム (区内の地域活動)

1、まちの魅力グッズの作成・販売



(一社) すぎなみ文化協会では、荻窪のシンボリック建物を会員がイラスト化した『荻窪八景』絵はがき等をすぎなみビジターセンターで販売し、まちの魅力を発信しています。

実施主体: (一社) すぎなみ文化協会

出典: (一社) すぎなみ文化協会 HP

2、荻窪百点.com・荻窪検定の実施



「荻窪百点.com」は、すぎなみのタウン誌「荻窪百点」のブログ版で、荻窪の歴史や見どころ、名店、グルメや地域イベント等の情報を発信しています。さらに荻窪の知識度を測れる「荻窪検定」を実施し、荻窪の歴史に関する知識を地域に広めることで、まちに対する愛着をより深めてもらう取組を進めています。

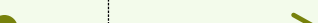
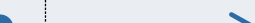
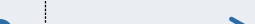
実施主体: (株) 明るい生活社 荻窪百点

出典: 荻窪百点.com

6

各アクションプランの実施ステップ

5. では、叶えたい具体的なまちのイメージその1からその4までの実現のための様々なアクションプランをご紹介しました。本アクションプランは、その1からその4まで、概ね順を追ってアクションプランを進めていくことで、まちの魅力を守りつつ、来街者をお迎えする準備も着実に整え、「住んでよし 訪れてよしのまち」に向かう組み立てとなっています。以下の表は、各アクションプランの大まかな実施ステップをイメージしていただけるよう整理したものです。

叶えたい 具体的な まちの イメージ	(仮称) プラン名称	(仮称) 荻外荘公園の公開 (令和6年予定)		まちづくり 方針との 関連性*1
		公開前	公開後	
その1	毎日「荻窪の記憶」プラン			IV-②
	それは知らなかった！プラン			IV-②
	ありがとう荻窪のみどりプラン			Ⅲ-⑤
	こんな活動してますプラン			I-④
その2	荻窪的デザインでいこうプラン			Ⅲ-⑦ IV-③
	ご近所優待プラン			IV-②
	まちをみどりで演出プラン			Ⅲ-⑤ IV-②
その3	荻窪道しるべプラン			IV-② IV-③
	歴史的・文化的資源のはしごはかがプラン			IV-②
	これでわたしも荻窪通プラン			IV-②
その4	OHO（オープンハウスオギクボ、Open House Ogikubo）プラン			IV-②
	とっておきのイラストマッププラン			IV-③
	イマドキノツタエカタプラン			IV-③
	どうぞご自由にお掛けくださいプラン			IV-②

*1 まちづくり方針「テーマ別の取組の方向性」との関連性（次頁参照）

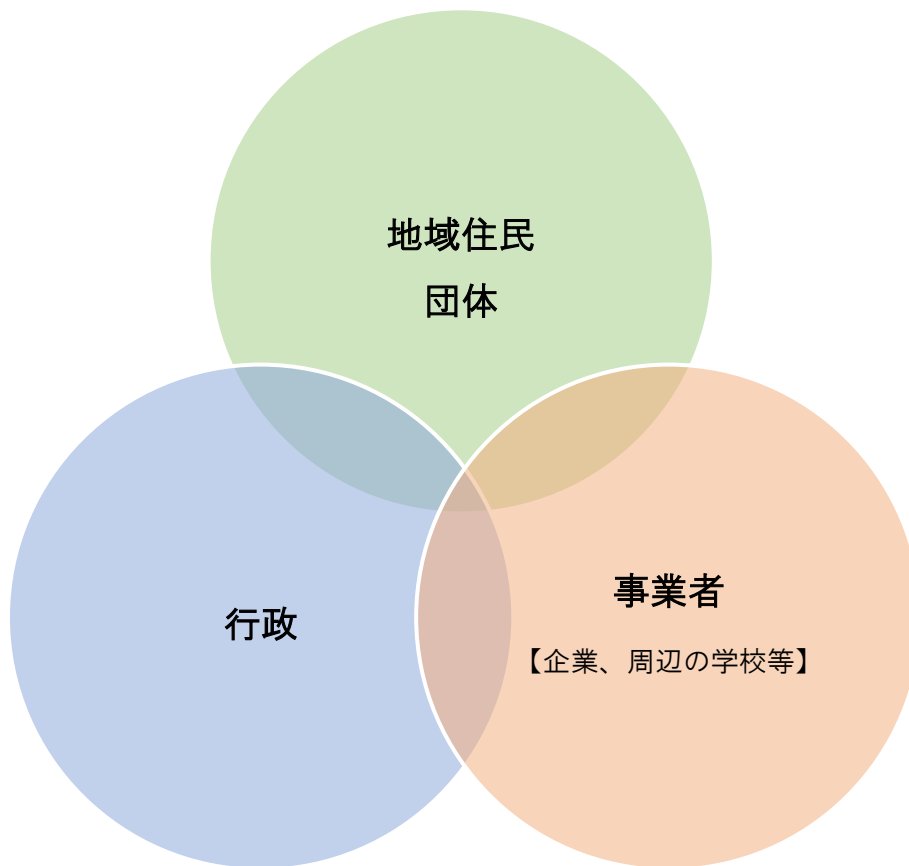
参考：「まちづくり方針」の目標とテーマ別の取組の方向性

目標Ⅰ 人にやさしい、 歩いて楽しめるまち 駅南北の連絡機能の強化、回遊性の向上、歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上などに取り組み、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、人にやさしく、歩いて楽しめるまちを目指します。	① 南北連絡動線の充実 ② 駅前広場機能の充実 ③ 歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上 ④ 地域連携の促進
目標Ⅱ 災害に強く、 安全で安心して暮らせるまち 首都直下地震に備え、倒れにくく燃えにくいまちづくり、狭あい道路等の整備、防災機能の充実などに取り組み、安全で安心して暮らせるまちを目指します。	① 拠点駅周辺としての防災機能の充実 ② 木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性向上 ③ 主要生活道路等の整備 ④ 狭あい道路拡幅整備の推進 ⑤ 幹線道路沿道等における耐震化・不燃化の促進 ⑥ 水害対策の推進 ⑦ 地域防災力・防犯力の強化
目標Ⅲ にぎわいと良好な住環境が調和した、 生活利便性の高いまち 駅周辺の都市機能の充実、商店街等の歩行環境や買い物環境の向上などに取り組み、エリアごとの特性に応じて、にぎわいと良好な住環境が調和した、生活利便性の高いまちを目指します。	① 多様な都市機能の充実 ② 共同建替えや協調的な土地利用の誘導 ③ 商店街等の歩行環境や買い物環境の向上 ④ 荷捌き環境の改善 ⑤ みどり豊かで良好な住環境の保全・育成 ⑥ 緑化推進とオープンスペースの充実 ⑦ 地域交流の促進
目標Ⅳ 歴史文化の薫り漂う、住んでよし、 訪れてよしのまち 豊かなみどりや歴史的・文化的資源を生かし、良好な景観づくりや観光まちづくりなどに取り組み、住んでよし、訪れてよしのまちを目指します。	① 良好な景観づくりの推進 ② 歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりの推進 ③ 地域の魅力発信

7

今後に向けて

- ・実施主体が中心となり、各アクションプランに取り組めます。
- ・「地域住民・団体」「行政」「事業者（企業、周辺の学校等）」がそれぞれの役割を担いながら、協働により各プランに取り組めます。
- ・「住んでよし、訪れてよしのまち」の実現に向けて、住む人も、訪れる人も、互いに心地よく過ごせるようなまち歩きのある方を意識しながら取り組めます。
- ・掲載されているアクションプラン以外にも、叶えたいまちの具体的なイメージに向けた取組を進めていくにあたり必要な事項については、実施に向けた検討を進めます。



参考資料

(1) 地域資源

① すぎなみ景観ある区マップ

・荻窪北・下井草編(抜粋・一部追加)



1 荻窪駅の「荻」
荻窪の地名の由来となった、水辺の湿地に生えるオギが植えられています。ススキに似た大型の多年草です。



2 荻窪タウンセブン
戦後にできた新興マーケットが、1981年に7階建てビルになりました。屋上からの風景と魚屋が杉並百景です。



3 教会通り商店街
大正6年に設立された天沼教会が奥にあり、昭和の雰囲気と建物が残る、狭い通りの賑やかな商店街です。



4 ときのオアシス
天沼もえぎ公園に併設された休憩所で、時の門・地界の天庭・日時計があります。すぐ隣に自然生態園もあります。



5 天沼弁天池公園
かつて天沼弁天池と呼ばれる湧水池があり、中ノ島に弁天様が祀られ雨乞いも行われました。カルガモ親子がいるかも。



6 郷土博物館分館
郷土博物館の分館として天沼弁天池公園内に建てられ、主として企画展や区民参加型展示が行われます。



13 荻窪白山神社
中世にはあったと言う旧下荻窪村の鎮守です。都内有数の大神輿・大太鼓があります。女みこしが杉並百景です。



14 光明院
通称「荻寺」と呼ばれ、荻窪の地名の由来と言われています。南北朝期の開創で、多くの仏像・石仏があります。

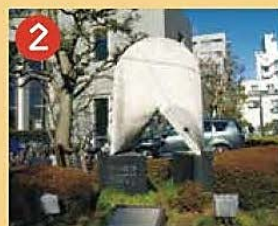
出典：すぎなみ景観ある区マップ 荻窪北・下井草編(みどり公園課)/2019.5 改版

URL: https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/001/013/453/201905ogikitasimoigusa.pdf

・荻窪南編（抜粋・一部追加）



1 杉並「まち」デザイン賞 西郊ロッキング
昭和初期に贈り付き高級下宿として建てられた建物です。国の登録有形文化財です。



2 オーロラの碑
かつてここにあった区立公民館から原水爆禁止運動が発祥したことを記念して建てられました。



3 読書の森公園
区立中央図書館に隣接し木陰で本が読める公園です。図書館側にガンジー像が建てられています。



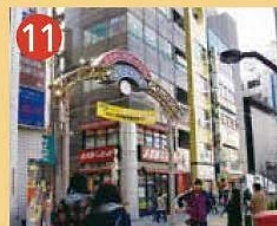
5 荻外荘(国指定史跡)
荻外荘は、昭和戦前期に総理大臣を3度務めた政治家、近衛文麿の別邸です。平成28年3月に国の史跡に指定されました。



6 角川庭園
角川源義氏の旧邸宅を活かした庭園です。園内の幻戯山房は国の登録有形文化財です。



10 与謝野公園
与謝野鉄幹・晶子夫妻の旧居跡につくられた公園です。夫妻の歌碑があり、近くの桃二小の校歌は晶子の作詞です。



11 荻窪南口 仲通り商店会
荻窪駅南口から南へ環八通り近くまで450m続く、何となく懐かしくほっとする気もある商店街です。

出典：すぎなみ景観ある区マップ 荻窪南編（みどり公園課）/2018.12 改版

URL： https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_001/013/453/201812ogimina.pdf



② 駅からお散歩マップ
・ おぎくぼ北エリア



出典：駅からお散歩マップ おぎくぼ北エリア（産業振興センター）/2011.11 現在
URL：https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/001/013/454/ogikubokita2011.pdf



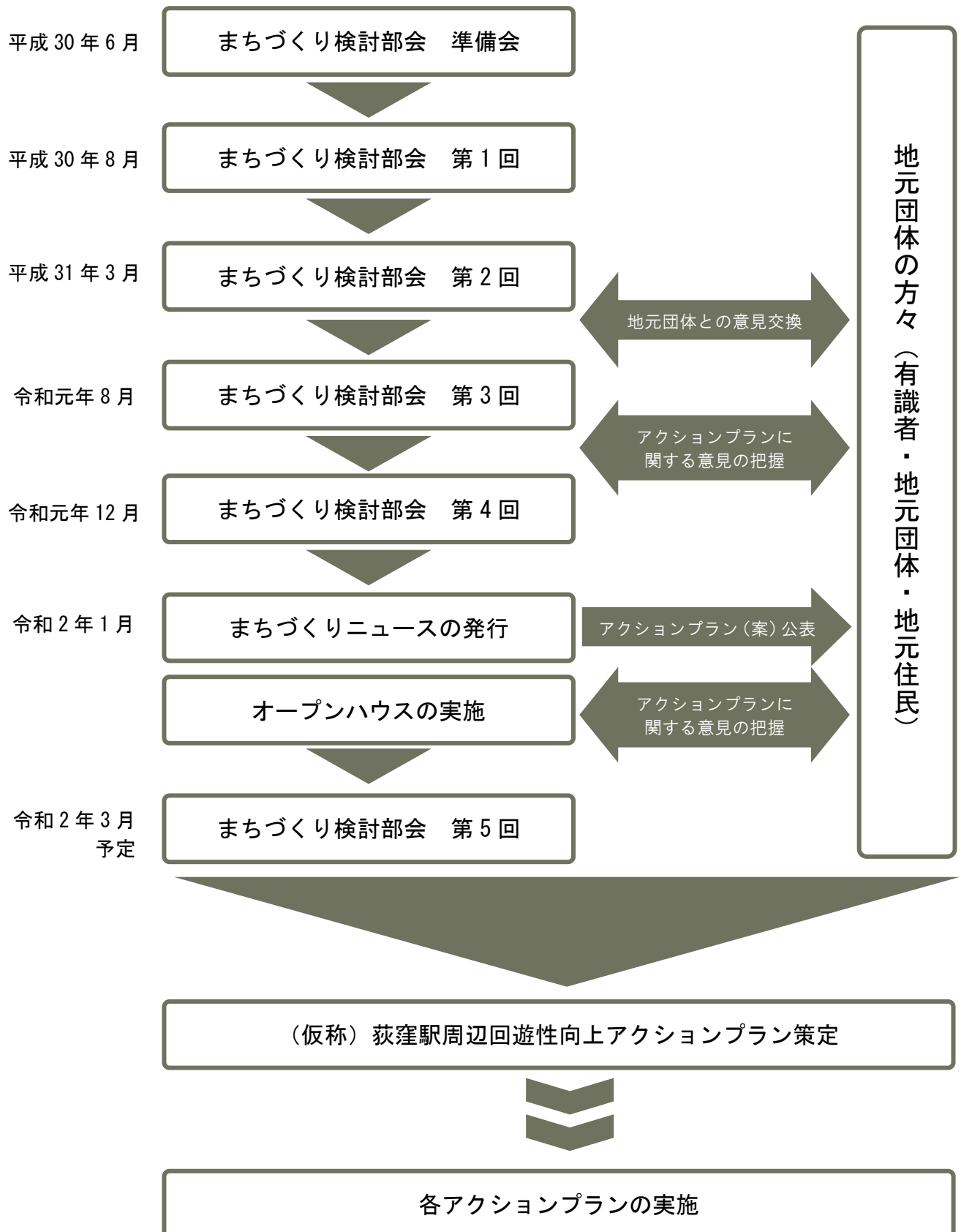


出典：駅からお散歩マップ おぎくぼ南エリア（産業振興センター）/2015.11 現在
URL： https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/013/454/ogikubominami2016.pdf



(2) 策定経緯

※まちづくり検討部会…杉並区荻窪駅南側エリアの歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくり検討部会の略称



(3) 参考文献

- 郊外の文学誌／川本三郎・2012 年
- 東京高級住宅地探訪／三浦展・2012 年
- 井荻町土地区画整理の研究 - 戦前期東京郊外の形成事例として - ／高見澤邦郎・2006 年
- 荻窪の記憶／荻窪地域区民センター協議会・2019 年
- 国史跡指定記念特別展「荻外荘」と近衛文麿／杉並区郷土博物館・2016 年 4 月
- 文化財シリーズ 46 国指定史跡 荻外荘（近衛文麿旧宅）／杉並区郷土博物館・2017 年 3 月
- 土地利用現況調査（2017）
- 杉並区公共サインマニュアル／杉並区・1994 年 3 月
- 荻窪百点.com
<https://ogikubo100ten.com/>
- （一社）すぎなみ文化協会杉並ガイドの会
<https://suginun.jimdo.com/杉並ガイドの会-まちづくり部会内/>
- 荻窪区民センター協議会
<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
- ポートベロロードアートプロジェクト
<https://www.rbkc.gov.uk/leisure-and-culture/culture/portobello-wall-public-art-project>
- 東神楽町 ブランドロゴマーク
<https://www.town.higashikagura.lg.jp/docs/380.html>
- 杉並区 みどりのベルトづくり
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/machi/midori/1005062.html>
- 八王子市 八王子市魅力づくり支援補助金
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/002/p006357.html>
- （一社）天草宝島観光協会 五足の靴文学遊歩道
<https://kumamoto.guide/spots/detail/11296>
- （一社）川崎市観光協会 スタディ・ツーリズム
http://www.k-kankou.jp/study_tourism/index.html
- Open House London
<https://openhouselondon.org.uk/>
- （一社）下田市観光協会 下田 30COLORS PROJECT
<https://www.shimoda-city.info/shimoda/30colors/>